

令和元年度学校評価 人材開発課総括

	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括
		優→3 可→2 不可→1	
初任者研修業務	①新任教員の木更津総合高校での教育活動が円滑に進むよう、多くの先生方のご経験、お力をお借りしながら、講話・ディスカッション・研修を企画・実施してゆく。	2	学校長・副校長・教頭・各分掌部長の先生方からのガイダンス・講話を通して、木更津総合高校の理念、システム、業務の実際について新任教員に指導した。また、ディスカッションや講義を実施し、本校での生徒指導について考えを深めた。各教員の業務の多忙さ、行事や各種会議・打ち合わせなどで放課後に研修を設定することが困難になってきている中でも最低限の研修は実施できた。
	②新任教員が教員としてのキャリア形成を本校で継続的に進めてゆけるよう、折に触れて相談相手・支援者の役割を果たす。	1	放課後の初任者研修の場だけでは、初任者個々がかかえる課題や問題に手ができないため個別に相談に乗ってはいるものの、悩みの解決や行動変容につなげられなかった。また、授業中にクラスをどうコントロールするのか、実践的な指導が足りなかったことも反省点である。
	③ 新任教員以外の先生方にも多くの学びの機会・情報を提供してゆく。	2	今年度も作家の喜多川泰先生の講演・授業研修会を3年連続で実施。実践的でありながら、教師という仕事に対する勇気と希望を与ええた素晴らしい勉強会だった。しかし、初任者以外の有志教員の参加が年々減ってきており、学びの風土を作ることの難しさを改めて感じた。
	④ 人材開発課教員自身が、それぞれの持ち場で全力を尽くす。	3	人材開発課所属の各教員は、それぞれが担当している担任意務・部活動指導業務・担当授業に対し真摯に取り組み、新任教員に対して率先垂範を実行するべく努力している。

